

# 自社独自製品の展開に向けた知財基盤整備

会社名 デザインパーツ株式会社  
 所在地 静岡県富士市今泉777-1  
 従業員 20名  
 資本金 3,000万円  
 売上高 約2億円  
 業種 試作および金属加工全般



## 支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 売上の大半は下請生産事業であるが、今後それを維持しながら、自社独自製品の売り上げを増やしていきたい。
- 自社製品を展開していくにあたり、戦略および体制面での強化が必要。

## 支援を受けてできるようになったこと

After

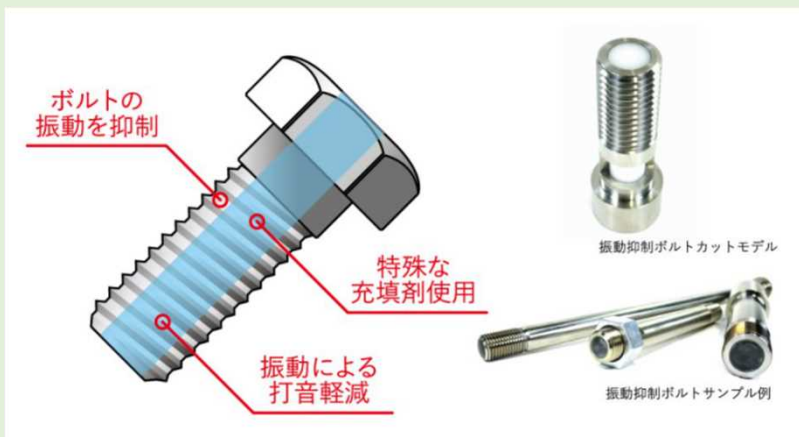
- 知財経営に関する知識を会得し、事業に対して知財を活かす意識が高まった。
- 顧客との関係性に応じた契約体系を整備する等、自社の知財を実務の中で生かしていく基盤が整備された。

## 今後の事業展開の展望

Future

- 自社製品の開発力を高め、売上増大に貢献する事業の実践。
- オープンクローズ戦略を意識し、知財を経営に活かす活動の進展。
- 自社技術のブランド力を高めていきたい。また、その一環として標準化にも挑戦予定。

## 重点支援を受けた事業や商材



当社の強みは高精度部品加工と複雑形状加工であり、切削加工技術の一つとして、金属部品に深穴をあける技術の評価が高い。

例えば、ボルトの芯部分に特殊な樹脂材料を充填した振動抑制ボルトはメディアでも紹介され、大手製造業等と共同で事業化を進めている。

振動抑制ボルトの他に数種類の特許取得及び出願をしている。

従業員の創意工夫を尊重する風土であり、見込みのある発明等については事業化にチャレンジしている。

【出典】デザインパーツ株式会社WEBサイト  
<http://www.designpart.co.jp/development/bolt/>

## 重点支援を実施するにあたって整理した課題



取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
顧客企業に対する知財ポリシーの制定	今後、自社製品を広く展開していくためには、様々な顧客企業との間で知財の取り扱いを定めていく必要がある。
知財戦略策定	出願経験やノウハウ秘匿意識はあるが、自社の知財戦略としてさらに強化していくための手当が必要。
知財体制整備	発明が創出されやすい風土であり、社内での確に知財として認識され、管理していくための体制整備が必要。
技術ブランド確立	自社の優れた技術をターゲット顧客に対して広めていくために、技術ブランディングの視点を取り入れていく必要がある。
海外展開準備	海外展開を念頭に置いており、特に知財面から留意すべき事項を整理しておく必要がある。

## 重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	専門家
知財戦略強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社技術要素に対して、出願／ノウハウ秘匿の峻別を行いながら海外を含めた戦略を仕立てていくための方法論を習得</li> <li>技術ブランディングに向けた取組に着手し、「出来ないを出来る会社」というキーワードを導出</li> <li>技術ブランディングの一環として標準化活用の検討に着手</li> </ul>	弁理士、デザイン専門家、知財経営専門家、海外知財PD
契約体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客との関係性等に応じた契約の在り方を理解</li> <li>契約について、専門家との相談体制を確立</li> </ul>	弁護士
知財体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>自社の発明を奨励する目的で職務発明規程を整備</li> <li>オープンクローズ戦略等の知識を習得</li> </ul>	職務発明規程専門家 知財経営専門家

## 支援チーム紹介

リーダー専門家:弁理士・技術士 林茂則

活用専門家:中小企業診断士、弁護士、デザイン専門家、知財経営専門家、職務発明規程専門家、海外知財PD

知財総合支援窓口担当者:静岡県知財総合支援窓口 中村 宏之